

A rolling stone
gathers no moss.
(転石にコケむさず)

Triangle

令和4年 1月17日
富江中学校 第15号
校長 山上 福範

伝える力



職員研修 1/7(金)



富中生が「目的に対して必要な情報を収集、整理・分析し、自分の考えを相手に分かるように伝えることができる力」を高められるよう、職員は研修を重ねています。

体育館で研究授業を行って市内小中高校や教育委員会から提案や指導をいただいたり、岡山大学から指導法などを教えていただいたりしています。



↑ 3年生の国語科研究授業 11/2



↑ 岡山大学オンライン講義 12/20

今後も自分の考えをわかりやすく相手に伝える力を磨いていきます。

3学期のスタートに備えて、職員で研修を行いました。前田研究主任のリードにより3部構成で行いました。

★人権教育

教師自身が日頃から人権教育の視点を持ち、生徒の人権感覚を育成することを目的に体験的参加型学習を実施しました。講師は林田教諭が務めました。(例)

ある生徒が水泳の授業に何度も水着や水泳カードを忘れてくるのは、なぜだろうか？



★授業づくり

「伝える力」を伸ばすための授業展開を検討しました。前田教諭が作成した国語と英語の指導案を協議しました。(例)

- ① イースター島の文明滅亡をもとに地球の未来を考え論述する国語の授業。
- ② 比較の表現を用いてALTにおすすめのカンコロ餅を紹介する英語の授業。

★応用行動分析

どんな状況で、どんな行動が起き、どんな結果が生じているのかを理解した上で、生徒の適切な行動が増えるよう支援することを学びました。

講師は長崎県教育センターに勤務歴がある盈進小学校の蒲田校長先生にお願いしました。

見通しが持てる場面設定や視覚情報も併用した指示、明確なルール、座席の配置などにも配慮しながら富中生への支援を重ねていきます。

3学期に目指してほしい姿は「共に高め合う富中生」。校訓「勤勉」を基にしています。勉強でも、部活動でも、生徒会活動でも、掃除でも、高校受験でも、何事にも粘り強く取り組み、共に高め合う姿。自分一人では難しくても、仲間と共に、時には競い合い、時には励まし合いながら高め合う姿。

その実現のために挑戦してほしいことが1つ。「失敗すること」。しかも「積極的に失敗すること」。失敗は失敗した後に価値があります。失敗に学び失敗を生かしましょう。

冬休みに各種スポーツの大会をテレビで観ました。「去年思い通りのプレーができなかったので必死に練習しました」「2年間選手に選ばれずに悔しい思いをしたので念願が叶いました」と語った選手がいました。

他にも、チームとして大会そのものに出場できない選手も大勢いました。結果的に目標達成までいかななくても、仲間と競い合ったり、励まし合ったりすることに大いに価値があります。

1回でも多く、積極的な失敗を試みましょう。遠慮はいりませんし、遠慮している時間ありません。1・2年生は49回登校したら進級、3年生は43回登校したら高校生ですから。

もし失敗して困った時には、仲間や先生、家族が助けてくれます。

やるだけのことはやったという3学期を自分自身で「創り」ましょう！

各専門委員長

生徒会専門委員長の紹介です。

- ★生活委員長 濱崎
- ★学習 // 川邊
- ★文化 // 川中
- ★放送 // 出口
- ★図書 // 柿脇
- ★環境 // 三浦
- ★保体 // 柿本



「生徒の 生徒による
生徒のための 生徒会」

をめざして協力し合い、理想とする富中を自分たちで「創って」いくことを大いに期待しています。

3学期の学級委員 五十音順

各学年の最終学期をリードする学級委員は、以下のメンバーです。進級へ向かう富中生の成長ぶりに注目です。

- ★3年 近藤 宮崎
- ★2年 小畑 平野
- ★1年 川辺 山口

文部科学大臣 優秀教職員 表彰

本校の坂下教諭が、文部科学大臣から優秀教職員として表彰されました。

表彰の理由は、中体連理事長（諫早・五島市）やバスケット・駅伝指導の実績、毎日カップ「中学校体力づくりコンテスト」4年連続入賞、教務主任としての功績が高く評価されたことによります。

昨年度の長崎県教育長表彰に続く荣誉です。